

CSRマネジメント

古河機械金属グループは、これまで進めてきた、本格的モノづくり、仕組みづくりを通じた事業活動、環境保全活動、社会貢献活動、人材育成活動などの様々な活動を、ガバナンス体制とコンプライアンスの強化を図りながら、「企業の社会的責任」（以下、CSR）として推進します。

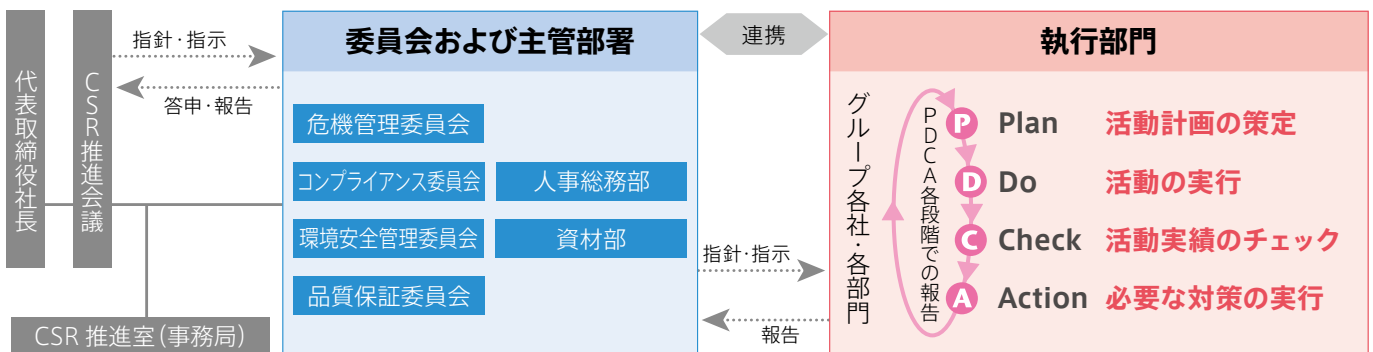
■ CSR推進体制

当社グループでは、CSR活動を強力に推進するために古河機械金属㈱に「CSR推進会議」を設置し、ステークホルダーの皆さまに対する責任を明確にし、取り組むべき重点課題を特定したうえで、積極的にCSR活動に取り組んでいます。

「CSR推進会議」は、当社代表取締役社長を議長とし、当社の「CSR推進室」が事務局となり開催します。主な役割としては、当社グループのCSR活動の基本方針・推進体制・活動計画の策定、活動状況の検証・評価、重点施策の立案など、CSRにおける様々な課題を審議します。

また、当社の組織である「危機管理委員会」、「コンプライアンス委員会」、「環境安全管理委員会」、「品質保証委員会」の4つの委員会と当社の「人事総務部」、「資材部」の2つの部署を「CSR推進会議」の構成組織とし、CSR活動の執行部門であるグループ各社や当社の各部門との連携を図り、計画、実行、評価、改善のPDCAサイクルを展開していきます。

CSRの推進体制図



■ ステークホルダーとの関わり

当社グループでは、CSR活動の強化と経営理念の実現に当たり、当社グループが考えるステークホルダーを、「お客さま」、「取引先」、「株主・投資家」、「従業員」、「地域社会」、「地球環境」と定めました。そのうえで、それぞれのステークホルダーに対する責任を明確にし、適切なコミュニケーション活動を通じ、信頼関係を構築し、企業価値の最大化を目指します。

ステークホルダー	ステークホルダーに対する責任
お客さま	安全で高品質な製品とサービスを提供し、お客さま満足度の向上を目指します。
取引先	公正かつ公平、経済合理性に基づく安定的な調達を實踐し、共存共栄ができる互恵関係の維持と構築に努めます。
株主・投資家	適時かつ適切な情報開示とIR活動を通じたコミュニケーションにより、企業価値の増大を目指します。

ステークホルダー	ステークホルダーに対する責任
従業員	安全で健康な、かつ多様な人材が活躍できる働きやすい職場環境を実現し、適正な評価基準と公平な処遇を実施します。
地域社会	地域社会との共生を目指した社会貢献活動を通じて、良好な信頼関係の維持と構築に努めます。
地球環境	環境配慮型の技術と製品の開発を進め、省エネ、省資源、廃棄物削減など地球への負荷軽減に努め、生物多様性の保全に取り組みます。

CSRマネジメントについてはこちら
https://www.furukawakk.co.jp/pdf/CSR/csr_01.pdf

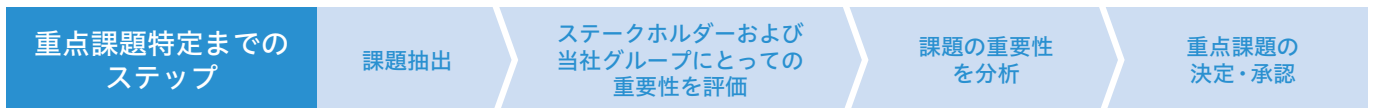
重点課題の特定

当社グループでは、事業活動を通じて広く社会に貢献することを実現するために、重点課題を特定し、CSR活動への取り組みを強化しています。

CSRの重点課題特定においては、ステークホルダーと当社グループの双方の視点からCSRに関連する重要な課題を抽出し、その課題の重要性の分析・評価を行い、当社グループのCSR重点課題を特定しました。

活動報告ページは、当社グループのCSR重点課題に沿ってご報告しています。

CSR 重点課題	掲載ページ
グループガバナンス体制の徹底	P17
コンプライアンスの強化	P20
お客さまから満足を得られる製品・サービスの提供	P21
環境保全活動の推進	P23
従業員にとって働きやすい職場環境の実現と公正な評価と待遇	P29
取引先との公正かつ公平な取引関係と互恵的信頼関係の構築	P33
社会貢献活動の推進	P35
株主・投資家とのコミュニケーション	P36



各委員会および所管部署の2021年度の目標

危機管理委員会	① 危機発生時の対応力の向上	
	② グループBCPおよび中核事業会社のBCPの見直し改善	
	③ 地震以外のリスクの抽出、対応策の検討	
コンプライアンス委員会	① コンプライアンス研修の拡充(継続)	
	② コンプライアンスチェックの実施	
	③ 公益通報者保護法改正に伴う内部通報制度の見直し	
	④ 個人情報保護法等遵守への体制整備	
環境安全管理委員会	環境保全・安全衛生活動	① 環境パフォーマンス(CO ₂ 、水、廃棄物、化学物質)の継続的な改善の推進
		② 現場力向上のための教育・指導の推進
		③ 無事故・無災害に向けた予防対策の強化
		④ 生物多様性保全活動の推進
	休廃止鉱山管理	① 知識・技能伝承などによる現場力向上の推進
		② 坑廃水処理施設の維持管理
		③ 集積場・坑内の整備推進

品質保証委員会	① クレーム件数・費用の削減
	② 製品の安全性の向上
	③ 「品質保証」体制の強化
人事総務部	① 人材育成
	② 健康経営の推進
	③ ダイバーシティの推進
	④ 就労環境の整備
資材部	① 主要取引先の第2回取引先CSRアンケート開始
	② 主要取引先のマネジメント(QCD+CSR)強化
	③ 取引先とのパートナーシップの醸成
	④ 全社的なCSR調達推進活動の継続